

# 「長良川川原町 ぶらぶら歩き」

長良川の美しさを満喫し、おいしい料理をいただいて、  
楽しいドラマを見ませんか？

旅館「十八楼」女将・伊藤知子さん、

クッチーナコンタミネアート「カンポドオロ」オーナー亀山克憲さん、

そして脚本家・林 誠人さんに、

未来への夢と希望について語っていただきます。





「誰とも会わなければウイルスはうつりません。しかし、私たちは、家族や仲間を作り、高度なコミュニケーションをとることで、ヒトへと進化しました。誰とも会わない事は、酷く社会生活と心を脅かします。」

しかし、決してあきらめず明日に向かって前進する三人がいます。その真面目でちょっと楽しい話から、明るい未来を切り開くエネルギーとヒントをいただきましょつ。

**伊藤** 川原町は川湊で斎藤道三のころから城下町として栄えています。上流からは材木や美濃和紙が、海からは海産物が運ばれ、この町で荷解きされて各地に送られました。十八楼は旅館業を営み、昨年創業一六〇周年を迎えました。

困難があるたびに地元の方々に助けられてきたと祖母や母から聞きま



十八楼女将 伊藤知子さん



十八楼 川原町蔵風呂

す。昨年はコロナ禍で、想像すら及ばず数カ月休業しました。「お邪魔できるようにになったらすぐ行くからね」と皆様に励まされ、自粛が明け、近所の皆様がお泊まりにお越しいただきました。地元に愛されているからこそ一六〇年間旅館業を続けることができましたこと、感謝しております。この町に恩返しをと館内に学習塾を設け、少しずつではありますが子どもたちの教育や体験に力を注いでいます。岐阜の人こそ、岐阜が素晴らしいと発信することが苦手だと感じていますので、子どもには郷土愛をしっかり持って外に羽ばたいてほしいと思います。

**亀山** 私は県内で料理店を始めてかれこれ三〇年ほど経ちます。雄総、

穂積で二軒、大きな店を経営していましたが、六〇歳を過ぎてから自分が本当にやりたいことをしたいと思い岐阜市役所旧庁舎裏に移転しました。規模を小さくすることで好きな食材も使え、やりたいことができず。岐阜は食材がとても豊かで恵まれていて、川、海、山のもの全てが使えます。パリでは二〇〇キロから三〇〇キロ圏内のものも地元産と言い自慢しますが、岐阜ですと敦賀から三重まで入ってしまいます。美濃だけを見ても夏はサツキマス、アユ、秋になると川ガニ、冬はキノコ類がたくさんとれ、美味しいです。こんな素材をしっかり使って自分の好きな料理を作れることが幸せだと思いに至っています。

しかし昨年八月、私は新型コロナウイルスに感染しました。店は、五月末に最初の緊急事態宣言が解除されて以来大変忙しく、僕自身、免疫もかなり弱っていたようです。店の従業員、といつても家族ですけど、手洗いほかあらゆることを、普通よりかなり気を付けていたつもりでした。具合が悪くなり、同級生が医者をしてるので電話をしたら、「多分コロナだから、市民病院に電話するので、そのまま入院して」と言われ、入院



カンポドオロシェフ 亀山克憲さん

したところ、中等以上というかなり重症に近い状態でした。悪くすれば、エクモを翌日に着けなければいけないという状況で、僕は全然知らなかったのですが、奥さんには今日、明日が境目です、と電話があつたらしいです。その時保健所から感染について店名を公表するかと問われその頃はもう思考能力も全くなく、ただ一つ思ったのは、誰かに僕と同じ思いをさせてはいけない。公表して、お客様や業者の方がすぐPCR検査を受け早く処置をすることによって、少なくとも命を助けることができる、ということでした。やっと自分のやりたい店をやって、軌道に乗ってきたことが駄目になるのかなという恐れもありました。それでもやはり、僕を育ててくれた人たちに迷惑を掛けることが一番駄目だと思



い、公表しました。幸い、お客様も業者の方も一人も感染がなく、私と家族だけの感染で済みました。入院時、妻から「すごいよ」と電話があり、「何が」と聞くと、店のシャッターに「ファイト」と書いた紙が貼つてあると言つのです。普通のメモ用紙に走り書きで「ファイト」と書いて貼つてあるのよ、という話を聞き、涙が出ました。コロナ感染で誹謗中傷を受けるという報道を目にしましたが、そうではなく、頑張れと応援してくれる人もいるのだ、世の中捨てたものではない、という思いが湧きました。その後も続々、ポストに励ましの手紙や葉書が結構入り、すごくうれしかったですね。



退院後、店の再開をするかどうかが気持ちの整理を付けるのが大変でしたが、近所の方など、励ましてくれる方々のおかげで、頑張らなければ、という気持ちで今に至ります。だか

ら、百折不撓ではないですけど、世の中はやはり自分一人ではなく、そういう周りの方にたくさん助けられているし、僕は、特に昨年、そういう思いをたくさん味わいました。



**林** 放送や映像、映画業界のライターが、このコロナ禍でどうなったかというところを発想するには、無駄がとて必要なんです。

無駄な会食、無駄なスモーキングの場所。そういうところでの雑談の中から、ふと凄い発想が出てきたりするんですね。それが今、リモートが主流になって、人と会って無駄な話をする時間がほぼ無い。クリエイティブな発想というのは、一人で考えていても難しいものです。誰かが何を言ったから、それにこうしよう、ああしよう、だったらいこうしよう、と言い合って、アイデアが広がり、モノは創られてきたのに、それができない。

それに例えば、テレビドラマなどの撮影をする時も、このシーン、はいスタートと言つてから、カットになるまで、役者さんたちはそれぞれ、このシーンはどんな気持ちでどう演じたらいのかを、いつもディスプレイでチェックしています。このセリフはこういうふう演技してみるか、こう受けてくれとか、そういうコミュニケーションも、今はできない。全員がマスクをしてディスプレイを取つて、黙つていて、はい本番。これではね、面白いものは生まれません。つくづくひどい時代だと感じています。



脚本家 林 誠人さん

高校の話をします。僕は二六歳の時に「特捜最前線」というドラマでデビューしました。そのドラマ総括は、岐阜高校出身の高橋止樹さん。二〇歳ほどの大先輩でした。その後、「反町隆史さん主演の連続ドラマ

をTBSでやりましたが、チーフプロデューサーは、伊藤一尋さん。四学年上の先輩です。四〇代になって、伊東四朗さんの二時間ドラマのシリーズを担当するようになったのですが、その番組のプロデューサーは、テレビ東京の橋本おかりさん。彼女はクラスと一緒になかったけれども、まったく学年が同じ同級生でした。「ドクターX」で技術スタッフをまとめたのは、テレビ朝日の説田比登志くん。二学年下の後輩です。この業界にも、岐阜高校出身者がたくさんいて、そういう人たちが出会うたびに「僕は優秀な高校を出ているんだぜ！」という気概を感じてきました。

— 現役高校生だった頃の思い出についてはいかがでしょう？  
**亀山** 僕がいた頃の岐阜サッカー部は非常に強くて、県で優勝もしていました。僕はサッカーが好きで高校へ行っていたようなものです。岐阜県で大雨が降つて、安八の堤防が決壊した時、校舎から長良川の水面が見えて、びっくりしました。普通、校舎の北側から川を見ると、左岸の堤防の先に右岸の堤防が見えるだけです。下方に生える草しか見えないのですよね。窓から向こうに水面が



見えるというのは、非常に不思議で、自然つてすごいと思つて、今みたい  
に警戒して堤防に寄るな、なんて言  
われることのない時代だったので、  
ちよつと、サッカーのトレーニング  
で堤防を僕はしょつちゅう走つてい  
たので、その日も走つていたのかな、  
雨の中。本当に堤防道路の一メート  
ルぐらい下まで水が来てました。す  
ると漁師のおつちゃんかタモを持  
つて、逃げてくる鮎を全部すくつてい  
るんですよ。おお、この人たち、た  
くましいなと思つました。岐阜高校  
に通つていたから、自然のすごさを  
間近に見られたのだと思つます。  
※一九七六年九月二日の「安八水  
害」



—他の学校が休校になつても、あそ  
この学校だけはなぜか休まないつて  
いうか、本当になんか、損した感じ  
になりますよね。

**亀山** 逆に、学校へ行つて勉強しな  
さいとか、こつしなさいというのは、  
僕の頃は少なかつたと思つます。大  
体、土足でしたし。あの頃、土足の  
学校なんて少なかつたですよ。

**伊藤** 私たちの頃も土足でした。

**亀山** 今は違いますけど、校舎が新  
しくなつたので。

—北校舎なんて砂だらけでした。

**伊藤** 主人は愛知県の出身で、いつ  
もお互い笑い話になるのが、普通は  
最終学歴として「出身大学は？」と  
聞きますが、岐阜の人は、なぜか出  
身高校を聞きます。どうしてなのか  
と、いつも主人は不思議がつていま  
す。そこで、「岐阜高校です」と答  
えると、「いやあ、実は僕も」「それ  
はすごいね」「うちの孫も」などと  
返つてきて、岐阜高校出身というこ  
とで私ばかりがうかつていたき得を  
しています。私たちの代は第二次ベ  
ビーブームの頃、おそらく一番子ど  
もが多い時代で定員五〇〇名のとこ  
ろ、志望者が五〇五名でした。だか  
ら受験当日に熱など出さなければ受  
かつた、今では考えられない時代で、

私もそこで紛れ込んでしまった一人  
です。岐高生らしくない岐高生とし  
て先生方にも覚えていただいでい  
て、のんびり、のびのび、過ごしま  
した。バレーボール部に入つていて  
遠征試合に行くのですが、スポーツ  
有名校に当たると、相手校の監督が  
「岐阜高校なんか一点も取られる  
な」と大きな声で言われたのが印象  
的で、「五番狙え、五番」とかつて、  
私五番なんですけどつて（笑）。一  
点でも取られると「なんで岐阜高校  
なんか取られたんや」などと言わ  
れたのが記憶にあつて、勉強しか出  
来ないように見られているのだな、  
というのに驚きました。



—林さんは三年生の時に、同学年の  
五人の女子に同じ文面でラブレター  
を出したそうですね。

**林** 悪友何人かで、人気のある女子  
たちに、同日に全く同じ文面のラブレ  
ターを出そうつてことになつて、  
僕が書いたの。同じ日に、同じポス

トに投函して、五人に。それからし  
ばらくは、その五人を観察するのが  
楽しかつたね。勿論、誰からも返事  
は来ない。そりゃ、来ないよ。みん  
なキレイで、頭のいい人ばかりで、  
僕は出来が悪くてね。へなちよこ落  
第生だつたから。

—意外ですね、へなちよこだつたん  
ですか（笑）。

**林** 僕はこつという職業をしているの  
で、ウィキペディアに載つています。  
誰でも編集ができるので、間違つて  
書かれている部分もあつて、そこで  
後輩に、作品歴の整理を頼んだ。そ  
の時、経歴に岐阜高校卒つて書いて  
くれと、自分で言いました。大学よ



十八楼ロビーにて





りもやっぱり、自慢したい。これは岐阜県人特有かもしれないけれど。同窓会なんてのは大体、在学当時の淡い恋心もあってみんな来るわけですよ、三〇代、四〇代ぐらいは。三〇代となつて、あの時好きだった人と会いたいと思うのは当たり前前の感情で。あの人はどうなっているんだらうって、会いに行つて、あの時好きだったのよつて、ちよつと大人になつて、いろんな経験をしたら普通に言えるじゃない？

**亀山** だって、キレイになつていまずもんね。女性は特に。

**林** そうそう、女性はみんなキレイになる。

**伊藤** 一〇年毎に同窓会幹事をしますよね。最初の幹事の年の時に、同

窓会で仲良くなります。実際、カッブルが一組でき、結婚することになつて。

十八楼で披露宴をして、みんなでお祝いしました。岐阜高校を卒業した人は、やはり母校への帰属意識が高いと思います。だから、岐阜高校の同窓会は意義があるといひますか。ぜひ、皆さんに出席していただきたいなと思います。実はその結婚した二人の女性も、初めは出席を迷つていましたが、私が幹事の立場で誘つたら出席してくれました。そしてたまたま、同じ字び舎で過したという縁で、こうして再会して、生涯の伴侶を見つけたのです。共通点は岐阜高校で一緒に過ごしたということだけですが、それで何か安心感というか、信頼が芽生えたのだなあと思ひました。幹事としてうれしかったですし、お祝いに同級生たちがみんな、駆け付けることもできて、ご両親が一番喜んでいます。同級生でお互いを知つていから、絆は固いでしょう。私は同窓会でそんな良い経験もしました。

**林** 三〇代はみんな仕事をバリバリしていて、忙しくて、同窓会なんてあんまりなつて思ひながらも、集まつたら集まつたで、あいつも頑



楽しいひとときでした。

張つてるから自分も頑張ろうとパワーをもらつ同窓会。四〇代の後半になると、なんとなく人生の先が見えてきて、職場でも自分の立ち位置が分かつて、でも、まだまだもう少し、つて励まし合おうと集まる同窓会。僕がまさにこれから迎えようとしているのは、お互い還暦を過ぎて、仕事もリタイアして、余生をどう楽しく過こしていこうかということをお話す同窓会。世代世代でいろいろな捉え方があるじゃない？同窓会つて。だから、三〇代の人も四〇代の人も五〇代の人も六〇代の人も、みんな集まろうよ！つて思ひます。

―在校生へメッセージを



**亀山** 継続することというのは本当に大切です。僕もこの道、もう四〇年くらいになるのですが、続けていれば、小さいながらも自分のお店で自分の思うことができるようになります。続けないと人から認めてもらえません。それは、東京だろうがニューヨークだろうが岐阜だろうが、どこの世界でも一緒。東京へ行つて成功することが世界で活躍することではないと僕は思ひます。ここまですメディアが発達した時代なので、地方からでも十分、発信することができます。僕はコロナに感染して、命を失ひかけたので、このもつた命はやはり、信念に従つて、したいことするべきだと思ひました。

建物でも、食べ物でも、音楽でも、シナリオでも、絵画でも、飾らない、デザインしない美しさというのがあると思ひ、僕は今、そんな美しさを

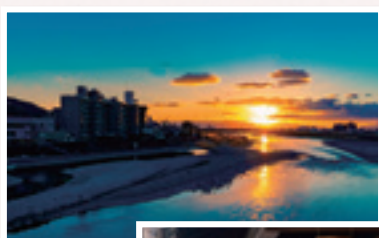


求めています。皆さんにも何か自分自身の信念を貫いていただきたいと思えます。

**伊藤** 同級生と共に過ごした高校時代は、自分にとってすごく豊かな日々で、岐阜高校を卒業できたことに感謝しています。何かつらいこと、相談したいことがあった時に、話を聞いてくれるのは同級生の仲間でした。結局自分がどうするかというのは自分自身で決めなければいけないのですけれど、仲間話をすれば、二つの道があった時に多少険しくても、いばらの道を進んでチャレンジする道を選ぶ後押しになると思います。私も自分が家業を継ぐなどということは全く思わずに大学を卒業して、決して楽ではなかった旅館経営をどうしていくのかを、同級生や主人に相談したところ、打って出なければ何か道は開けるのではないかと後押しされました。おかげでこうして今、まだ続けることができています。後輩たちには、相談できる相手を見つけてほしいということと、迷った時には険しい道を選んでいくことが大切ということをお伝えしたいです。

**林** 県民性かもしれないけれども、とつぴなことをする人間を嫌うとい

うか、「堅美」が一番正しいというよな。例えば、僕のように脚本家になるって言ったときに、そんなのなるわけない、というよな考えをする人が、岐阜には多いと思えます。無理、無理っていう。頑張れっていう県民性ではない。でもね、志せば、そして志を強く持って続けられ、何かになれるよ。夢を持って、それに向かえば。本当に百折不撓であれば。東京の人たちは、「夢を持つことができるよ」って平気で言うからね。とつぴな夢をかなえた成功例が近くにたくさんあるからかもしれないけど。岐阜県人って、そういうことを言わないんだよ。だから、後輩たちが変えていってほしい、心からそう思います。



● 亀山克憲 ●

カンポドオロシエフ  
昭和五二年卒  
岐阜高等学校卒業後、料理界へ  
フランス料理、スペイン料理、中国料理、イタリア料理を学ぶ。  
一九九五年総合料理の店カンポドオロをオープン。  
二〇一八年現在の岐阜市鷹見町へ移転

● 伊藤知子 ●

十八楼女将  
平成五年卒  
嫁ぐことが夢で日本女子大学へ入学したものの、婿を迎え十八楼の女将となる。子ども三人は全員が湊町一〇番地の十八楼と重なる一〇月一八日生。  
長良川温泉若女将会の会長、岐阜市教育委員等公職でも活躍中

● 林 誠人 ●

脚本家  
昭和五三年卒  
テレビドラマ  
『TRICK』『ストロベリーナイト』『ドクターX〜外科医・大門未知子〜』など多数。  
『天才を育てた女房 世界が認めた数学者と妻の愛』  
二〇一八年 文化庁芸術祭賞 優秀賞  
同年 日本民間放送連盟賞 番組部門優秀賞



# 岐高オリンピックピック



トップを目指せ！

女子サッカー界の第一人者で、

日本代表としてアトランタ五輪に出場した東明有美、  
南極北極を冒険し、

八〇歳でエベレスト登頂を試みた

三浦雄一郎を現地取材した山岳専門記者、近藤幸夫、  
FC岐阜のスポーツドクター、山賀篤が、  
岐阜のテクノロジを牽引する

ベンチャー企業代表の東明裕をMCとして、  
コロナに負けない熱い岐高魂をぶつけます。



**東明裕** 司会を務めます。昭和六三年卒業です。文武両道とはいきませんでしたが、「武」の方は多少はよかったです。令和三年度同窓会総会副運営委員長を務めています。

**山賀** 平成一〇年卒業です。岐阜市内で整形外科を開業しています。岐高生もスポーツのけがで受診することがあります。スポーツドクターとして、サッカーJ3・FC岐阜の選手のサポートをしています。



スポーツドクター 山賀 篤

**近藤** 昭和五三年卒業です。現在は朝日新聞長野総局で山岳専門記者をしています。主に大阪本社、名古屋本社、東京本社の運動部で山岳、冒険を担当してきました。イエティ(雪男)捜索隊に同行取材した経験もあります。ヒマラヤは田部井淳子さんや三浦雄一郎さんの登頂を取材しました。オリンピックは日本人選手のメダル獲得などの号外作りに携わり



山岳専門記者 近藤 幸夫

ました。相撲、ラグビー、ボクシングなど格闘技も専門です。

**東明有** 平成三年の卒業です。サッカーを始めたのは、今回、司会を務める三歳違いの兄、東明裕が先に行っていて、小学校一年生の時自分もやってみると、すごく楽しくって。いまでこそ、なでしこジャパンが活躍し、女子サッカーが当たり前の時代になりましたが、当時はサッカーをする女の子はいなくて、男の子の中に入って練習しました。頑張っ続けられたのは、追いつけない兄の存在や両親の理解があったからです。アニメ「キャプテン翼」の影響も大きかったです。いまも仕事でサッカー関係者に会う機会がありますが、一番うれしかったのは、キャプテン翼の作者、漫画家高橋陽一さんにお目にかかれたことです。サッカーを続ける中で、どれだけキャプ

テン翼に励まされてきたか。私のバリエーション的な存在です。

中学生になると、学校の部活動に女子サッカーがないという問題にぶつかりました。今もこの問題は続いています。私の場合は県サッカー協会、そして両親が動いてくれ、今も現存するチームの先駆けを作ってくれました。足りない人数は母親やその友達が入り、そんな支えがあった、中学校でもサッカーを続けることができました。

高校に進学する時、実は両親から岐阜高校に行くことを反対されました。女の子なので、県内トップの高校に行く必要はないと。でも私は兄の背中を見て育っていたので、兄が通う高校に行きたいと説得して岐阜高校に入学しました。一年生の時、私が所属することになる「マリマムFCくノ一」(現・伊賀FC)



元サッカー日本女子代表 東明 有美

から誘いを受けました。

一九八八年のことで、翌年にアマチュアの日本女子サッカーリーグがスタートしました。両親からは、せっかく岐阜高校に入ったので

学業を中心にと反対されましたが、学業には支障を来さず、サッカーも全力でやるということで、半年かけて了解を得ることができました。

高校一年の冬から、サッカーの練習のために三重県伊賀市まで通う生活が始まりました。学校が終わるのが午後三時で、母親に車で岐阜駅まで送ってもらい、午後三時三三分発の電車に乗り、伊賀市の練習場に着くのが午後七時ごろ。電車の中で勉強をして、練習に参加する生活を二年半続けました。私はサッカーをやりたいばかりで、つらいと思ったことはなかったです。でも、両親やコーチに車で送迎してもらったサポートがなければ続けられなかった。学校生活では先生やクラスメイトに支え



休日の岐高グラウンド



でもらいました。担任の先生には学業とサッカーを両立していけるように、勉強面で助けてもらいました。クラスメートは「東明はサッカーしているんですよ、すごい」と応援してくれました。皆さんに支えられて、二四歳の時にアトラクタ五輪の日本代表として出場することができました。文武両道を掲げる岐阜高校の一員としてスポーツの分野で、母校に貢献できたのかと思っています。



**東明裕** 山賀さん、近藤さんから高校時代の思い出、スポーツへの思いを聞かせてもらえますか。

**山賀** 高校では硬式テニス部に入っていたのですがすぐに辞めてしまい、実は運動らしい運動はしてきていないんです。大学に進学してからスキー

部に入り、スキーが楽しくて今も続けています。自分がやる運動はそれほどいいです。スポーツドクターをしているので、クリニックにはいろいろなジャンルの運動選手が来てくれるので、競技ではどんな動きをするのか、練習は何をしているのか、選手に話を聞きながら関わっています。スポーツ観戦は好きなので、仕事でもスポーツに関わってうれしいです。



MC 東明 裕 同窓会総会副運営委員長

**東明裕** FC岐阜のスポーツドクターをしているんですよ。

**山賀** 二年前に父から引き継ぎ、FC岐阜のチーフドクターをしています。スポーツドクターはテレビで見ると靴を持って負傷した選手の現場に向かう華やかな場面が目立りますが、実際にはほかのことも大変で。選手やスタッフ、家族の健康管理に携わること、ドーピング禁止薬物は

市販の風邪薬やサプリメントにも入っていることもあるので、選手が知らずに使ってしまうことがないよう注意を払うなど、裏方の仕事結構大変です。

**近藤** 岐高生は皆、高山市奥飛騨温泉郷にある「林間学舎」に宿泊して西穂高岳の独標まで登山するんですが、それで山が好きになって信州大学に進学しました。朝日新聞社の最初の赴任地が富山支局で、北アルプス立山連峰など山岳関係の記事をよく書きました。

ヒマラヤには五回ほど行きました。世界最高峰のエベレスト（標高八八四八メートル）は、登山家の故田部井淳子さんが一九九九年に、二四年ぶりに環境調査隊を率いて現地調査を行った際に同行取材しました。二〇一三年、冒険家三浦雄一郎さんが八〇歳で世界最高峰エベレストへの三度目の登頂を目指した時も、ベースキャンプから三浦さんの挑戦の様子を伝えました。多分、日本が一番山岳や冒険に詳しい記者だと思っています。

五輪開催中には東京本社などで、選手が入賞した際の号外作業に関わりました。だから五輪の知識は必要で、五輪憲章は読み込んでメダルの数とかルールに詳しくなりました。



新聞記者は、現場に立つてこそなんですよね。そして、選手の気持ちにどこまで寄り添えるか。選手とイコールのことは絶対に書けないんだけど、どこまで迫って本音を聞き出せるかってところが勝負なんです。

**東明裕** 五輪で日本の代表選手として闘うプレッシャー、精神的な心持ちを聞いてみたいですね。コロナ禍で東京五輪は一年延期され、選手たちは今も大変な思いをしていると思いますが、四年に一度の五輪に向け



て、どんな思いで本番に向けて調整しているのか。それは代表になった人にしか分からないと思うので。

**東明有** 一九九六年のアトランタ五輪までは、女子サッカーは正式種目じゃなかったんですよ。ただ、アトランタ五輪から女子サッカーが正式種目になるかもと言われていたの  
で、選手の目標にはなっていました。私は一九九三年に日本女子代表に選



出され、一九九五年と一九九九年の女子ワールドカップにも出場しています。自分の中では、アトランタ五輪も他の国際大会と位置付けは変わらず、日本代表という意識でいました。五輪代表になった時の周りの反応がすごくて。それで、五輪ってすごい大会なんだと改めて思いました。選手としては、国際大会の代表選考に毎回選ばれたいと、その都度、全力で挑んでいました。なので国際

大会の延長線、選手としての活動の積み重ねの先に五輪があるという意識でした。

**近藤** 二〇〇五年度に陸上の為末大選手が、朝日スポーツ賞を受賞した時の記事にも書いたのですが、彼が言ったのは「負けてから何を学ぶか」っていうこと。四年に一度の五輪で、陸上だったら、何分何秒の世界で最高のパフォーマンスを出さなきゃいけない。それに四年かけていたら次の四年後に挑戦か、引退か、ものすごく厳しい世界なんですよね。



**東明有** 確かにそういう厳しさはありますね。今、仕事として企業向けに、パフォーマンスをどう上げると



いう研修をやっているんですが、四年に一回とか、一年に一回、この日に絶対勝たなきゃいけないっていう厳しさはスポーツの世界にはありますが、逆に言うとも目標設定はしやすい。嫌でも、目標が必ず迫ってくるので。でもビジネスの目標って、ややもするとファジーになりがちで、設定を一からやらないといけない。スポーツとビジネスでの目標設定の違いは、社会に出てから、すごく感じています。

**東明裕** スポーツドクターとして、選手が試合で最高のパフォーマンスを発揮できるようにと、どんなアドバイス、サポートをしていますか。

**山賀** FC岐阜では、シーズン中にはいくつもの試合があつて、一年に一回のこの日に合わせるというよりも、毎試合、毎試合にベストが出せるコンディション作りのサポートに

努めています。五輪に関して言えば、マイナースポーツにとつては、やっぱり五輪はすごく重要です。結果によって、その後の世間の認知度、サポートも変わってくるので。サッカーなどの団体競技よりも、陸上とかの個人競技の選手の方が、五輪に焦点を合わせて結果を出す、という思いは強いのではないのでしょうか。

**東明裕** プレッシャーに打ち勝つ方法って、あるんでしょうか。

**近藤** 一九九二年のバルセロナ五輪二〇〇m平泳ぎ金メダリストになった岩崎恭子さんは、出場当時、他の選手の方が注目されていて、何のプレッシャーもなくて、決勝に進めればいいと思っていた。それが当時の五輪新記録まで出しちゃつて。その後はプレッシャーが掛かつて、思うような結果が出なかった。当時は中学一年生

で、のびのびと実力が発揮できたんでしょ。究極のパフォーマンスをやつてしまったわけですよ。



岐高テニスコート



**東明裕** 今もコロナ禍にあります  
が、昨年は中止になった岐阜高校の  
同窓会総会を今年は何とか開催しよ  
うと、われわれも努力をしています。  
東京五輪もこの夏の開催に向けて、  
厳しい環境の中で動いていると思う  
のですが、コロナに打ち勝つためと  
か、こういう難しい状況の中で生き  
ていくために、スポーツ選手はどん  
な心構えで動いているのでしょうか。  
私たちは、それをどうサポート  
していけるかを考えたい。

**山賀** 新型コロナウイルスの変異株は、感染  
力が一・八倍高まったとも言われて  
います。感染症対策に関しては、万  
全の体制で五輪開催になるとは思  
いますが、何力国の選手が来るのか、  
観客は入れられるのかなど、定まっ  
ていない部分も多い。新型コロナ感  
染症の状況によっては、予選がで  
きない国もあると思います。そうなる  
と、その国で一番強い選手が代表と  
なっているのかという話にもなる。  
いろいろな意味で今までの五輪とは  
違う形にはなってくるのでしょ  
うね。ですが、出場する各国の代表選  
手は、全力を尽くして競技に挑むと  
思います。われわれにできることは、  
一生懸命にアスリートたちを応援す  
ることです。

**東明有** 選手は今日をいかに頑張る



かを考えていて、その積み重ねの先  
に五輪があつて。今、自分ができる  
ことを精いっぱい続けるしかない、  
そんな心境なのかと思います。逆に、  
山賀先生はFC岐阜に関わっていま  
すが、Jリーグは今シーズン、予定  
通りに開幕できましたよね。東京五  
輪開催の議論が続く中、選手はどん  
な受け止めをしているんでしょうか。  
**山賀** 選手たちの雰囲気は、そんな



休日のひとりサーブ練習

に大きく変わっているという感じは  
していません。でも昨シーズンは、  
三月の開幕が、新型コロナウイルスの影響で  
三日月半遅れとなりました。コロナ  
禍の前でも、重症のけがをした選手  
は治療の間サッカーが出来ず、自分  
と向き合うことで今までの自分を見  
つめなおす機会になったという声は  
よく聞きました。今回の活動休止  
の間、各選手は同じような理由で、  
自分と向き合う期間が増えたと思  
うんです。今まで当たり前前にサッ  
カーをやっていたことが、これだけ  
長くできなかったというのは、選手  
にもない経験で。サッカーがやれて  
いることは当たり前じゃないって、  
感じた選手は多いと思います。

残念ながらFC岐阜でもクラス  
ター（感染者集団）が出て、活動停  
止、試合も中止となる事態になりま  
した。そうすると、本当は選手ファ  
ーストでやらしてあげたいのですが、  
メディア側としては、感染症対策  
について、うるさいことを言わな  
くはいけない。他のチームにも  
迷惑をかけることになるので。ど  
こまで選手のやりやすいようにやら  
せてあげられるのか。一番苦労して  
いるところで葛藤があります。

**近藤** 試合ができる、競技ができる  
選手の喜びは大きいですね。それ

はスポーツに限らず、どんな分野も  
です。昨年のコロナ禍を経験して、  
われわれは多くのことを学んだ。だ  
から、みんなが、どんな対策を講じ  
ればいいのか分かってきている。  
その違いは大きい。

**東明裕** 東京五輪が延期となりまし  
た。もしも、自分がその立場だつた  
ら、選手として、どんな心境だつた  
と思うか。

**東明有** 自分が置かれている環境に  
よっても違うと思います。二二歳で  
初めて日本代表に選ばれましたが、  
予選で負けてしまったシドニー五輪  
の時は三〇歳近かったんです。自分  
の集大成とと思っている試合で、延期  
となると受け止め方も違ってくるの  
ではないでしょうか。そもそも一年  
も、パフォーマンスを保つのはどの  
選手にとっても大変なこと。新



休日中のランニング





型コロナが流行して一年後に延期となった時に、希望的に一年後を見られるか、悲観的に一年後を見たいという最初のポイントで、実は勝負が決まっているのかもしれないですね。

**東明裕** 最後になりますが、岐高生たちも、コロナ禍で不安を抱えながら学校生活を送っていると思うんですが、後輩にエールを送ってください。

**山賀** 私たちもコロナの影響を受けていますが、生徒たちは入学式や部活動ができなかったりと、従来の学校生活が送れずに大変な思いをされました。その中でも、工夫を凝らし、後輩たちは学業や部活動に頑張ってきています。私が診察する子たちによく言っているのは、自分の体に興味を持ってほしいということ。体のどこがどうすると痛くて、治すためにどんな手入れをすれば良いの

か。岐高生たちは、それが自分でできていて、賢い生徒たちが多い。学業もスポーツも頑張っていてほしい。スポーツドクターとして、それをサポートしていきたいと思っています。

**近藤** 岐阜高校だと、部活も大事だが、受験の存在が大きいと思う。大学受験は一年生で言えば、三年先の何月何日に受験があるのか。オリンピックのパフォーマンスではないが、それに向けて準備をしていってほしい。岐阜高校の後輩たちも、自分なりにベストなパフォーマンスができるよう、「百折不撓・自強不息」ではないですが、艱難辛苦を乗り越えて結果を出していってほしい。

**東明有** 自分ができないという自己嫌悪と、でも自分はできるという気持ちのせめぎ合いのバランスをいかにとつていけるかが大切です。自分ができるという気持ちが少しでも勝っている人がパフォーマンスを残していける。今、コロナの時代で悲観的なニュースだったり、将来に不安を感じることもあると思います。自分だったらできるという気持ちで勝れば、岐高生たちはポテンシャルが高いと思うので、そこで伸びていける。今、岐阜高校にいる皆さんは、世の中を変えていける力があると思っています。

＜略歴＞



楽しいZoom座談会でした。

**東明 有美**（とうめい・ゆみ）  
一九七二年、岐阜市生まれ。元サッカー日本女子代表。岐阜高校在籍時の一九八八年にプリマハムFCくノ一（現・伊賀FC）に加入。ディフェンスの要として日本女子サッカーリーグで活躍。日本代表として九五年、九九年のワールドカップ、九六年のアトランタ五輪出場。引退後も女子サッカーの発展に尽力。二〇〇七年に日本サッカー協会のJFAアンバサダーに女性で初選出。関東学園大学経済学部経営学科准教授、ビジネスコーチ。

**近藤 幸夫**（こんどう・ゆきお）  
一九五九年、岐阜市生まれ。信州大学農学部卒。八六年、朝日新聞入社。初任地の富山支局で、北アルプスを

中心に山岳取材をスタート。八八年から運動部（現スポーツ部）に配属され、南極や北極、ヒマラヤで海外取材を多数経験。二〇一二年から日本登山医学会の認定山岳医講習会の講師。現長野総局員兼山岳専門記者。

**山賀 篤**（やまが・あつし）  
一九八〇年、名古屋生まれ。二〇〇四年、岐阜大学医学部医学科卒。名古屋掖済会病院、朝日大学歯学部付属村上記念病院（現朝日大学病院）整形外科助教、奈良県総合医療センター整形外科（足の外科研修）などを経て、一六年から、やまが整形外科副院長。日本整形外科学会認定医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター。

**東明 裕**（とうめい・ゆたか）  
一九六九年生まれ。一九九四年法政大学大学院卒。二〇〇〇年Purdue大学経営大学院卒。日本山岳会、岐阜支部 事務局長。岐阜県山岳連盟 常任理事。

※座談会は四月一〇日に、昭和五三年卒業生で、令和三年度同窓会総会副運営委員長、広告会報担当を務める、現代画家中風明世さんが主宰する岐阜市の中風美術研究所にて行いました。



# もくじ

- 1 特集1 長良川川原町ぶらぶら歩き  
十八楼女将 伊藤 知子  
カンポドオロオーナーシエフ 亀山 克憲  
脚本家 林 誠人
- 7 特集2 岐高オリンピック  
元サッカー日本女子代表 東明 有美  
山岳専門記者 近藤 幸夫  
FC岐阜チーフドクター 山賀 篤  
トウメイエンジニアリング MC 東明 裕
- 14 さらに百折不撓 同窓会会長 木方伸一郎
- 15 「同窓会総云」をお祝いして 岐阜県立岐阜高等学校長 石田 達也
- 16 変わり者？諦めない気持ち？新たな歩みへ  
～我々の叡智で未来図を描こう～
- 17 令和三年度岐阜高等学校同窓会総会 式次第 運営委員会 委員長 篠田 成郎
- 18 第1号議案 令和二年度事業報告
- 第3号議案 令和三年度事業計画(案)
- 19 第2号議案 令和二年度岐阜高等学校同窓会 決算報告
- 20 第4号議案 令和二年度岐阜高等学校同窓会 予算(案)
- 21 令和二年度岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会 決算書
- 22 令和三年度岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会 予算書
- 23 岐阜県立岐阜高等学校同窓会規約
- 24 岐阜県立岐阜高等学校同窓会役員
- 25 特集3 篠田 成郎「森を守り活かす」聞き手 木村 裕子
- 28 特集4 「その先へ」～彫刻家 小野田志津代の挑戦～
- 29 特集5 恩師からの便り
- 33 特集6 寄稿集 学年代表の思い出と今  
昭和五三年卒 河嶋 廣、佐久間直子、渡邊 博、野寺 夕子  
昭和六三年卒 鈴木 千秋、高橋美奈子、寺村建一郎、長瀬 清  
平成一〇年卒 金田 正敏、小森 正悟、森田 恵、山賀 篤
- 39 令和三年度 岐阜高等学校同窓会総会運営委員会 名簿
- 40 岐高だより・学校案内2020
- 54 令和二年度 大学合格者数
- 55 会報協賛広告
- 138 特集7 どうぞつかい座談会  
～コロナ禍でも、諦めない仲間たちの記録～
- 142 令和三年度岐阜高等学校同窓会総会・懇親会運営委員会  
特設ホームページについて
- 143 広告ご協賛の御礼・編集後記





## さらに百折不撓

岐阜県立岐阜高等学校同窓会 会長 木方 伸一郎

昨年に引き続きコロナ禍での総会のあいさつとなりました。

昭和五二年、昭和六二年、そして平成九年卒の皆様が当番であった令和二年の同窓会総会は、残念ながら例年のような形では実施することができませんでした。

しかし、それにもめげずに、歴史に残るすばらしい会報を作成していただきました。卒業生の画家の中風明世先生による、百折不撓の岐阜魂でコロナウイルスに負けるな！と華厳というタイトルの力強い表紙デザインの会報は、「とびら」という特集の中で、講演を予定していた昭和五二年卒の梶田明宏先生の「昭和天皇にまつわるエピソード」に続き、新型コロナウイルスについて特集が組まれ、「正しく恐れ、冷静に予防しよう！」のメッセージ、時系列順での新聞記事の切り抜きと関連用語集がまとめられていました。座談会では、昭和五二年卒の岐阜大学医学部附属地域医療医学センターの村上啓雄センター長の司会で、令和二年同窓会総会運営委員長の松波総合病院松波和寿病院長をはじめ、医療関係に従事されている同窓生の皆さんによる情報満載の議論が繰り広げられていました。

例年、総会の席で配られる会報

ですが、広告協賛いただいた方々や近年総会にご参加いただいた方々など三千六百名あまりの方々に送らせていただきました。また、それと同時に、総会の決議事項については、ホームページに上程して、異議意見を投書欄で受けるといった新しい様式による運営をしていただき、異議なしで、決議させていただきました。

今年、昭和五三年、昭和六三年、そして平成十年卒の皆様が、お忙しい中、一年以上も前から、準備を始め、企画・会報の編集・広告および協賛金集めなど多方面にわたりにご尽力いただきました。新型コロナウイルスの感染拡大の状況の見通しが見つからないなかでのスタートとなりましたが、運営委員会では、冷静にいろいろな対応の検討がなされ、想定される感染拡大への対応策を考え、オンライン参加と会場での参加の組み合わせを工夫していただきました。

やはり、顔を合わせて集うことの意義はありますが、今後いろいろな都合により会場へ来たくても、来られない方々は、たくさんいらつしやると思います。コロナ禍が過ぎ去った将来のためにも、この試みへの挑戦は有意義であつ

たと考えます。

三月の卒業式では、感染拡大防止のため校歌は声をだしては歌えず、心の中で、「百折不撓 つとめてやまず」と歌いました。今年の卒業生は、センター試験制度の変更とコロナ禍に翻弄された学年でした。それでも、卒業式の答辞では、アインシュタインの言葉である「困難の中に、チャンスはある」を引用され、大変頼もしい後輩の姿を見せていただきました。

引き続きの同窓会入会式での式辞では、「岐阜高校は令和五年に一五〇周年を迎えます。この一五〇年の歴史と伝統を、背負う重みとは思わないで、それだけの仲間がいると思ってください。」と述べさせていただきました。

毎年秋の同窓会が主催で実施される講演会では、これまでに世界で活躍する多くの先輩たちが、「百折不撓」を座右の銘としているとお話されてきました。

また、皆さんと声高らかに、「学海の波 荒くとも 希望の岸 遠くとも 華陽の健児 心雄々しく 百折不撓 つとめてやまず」と歌える日がくることを心から楽しみにしています。





## 「同窓会総会」をお祝いして

岐阜県立岐阜高等学校 校長 石田 達也

令和三年度の岐阜高校同窓会総会が木方伸一郎会長様をはじめ役員・運営委員の皆様方のご尽力により、会員の皆様方のご出席を得て開催されますことを心からお祝い申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に対し、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は、四月の定期人事異動により、岐阜高校の校長を拝命いたしました石田と申します。昭和五七年に本校を卒業しております。大変微力ではございますが、岐阜高校の益々の充実発展のために精一杯努力させていただきますので、同窓会員の皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から同窓会総会は中止となりました。本年度も残念ながら皆様が一堂に会することは叶いませんでしたが、同窓会役員・運営委員の皆様のご尽力により、こうしてオンラインにて開催されますことは、同窓生としまして、

校長としましても、大変喜ばしいことであります。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大は本校の教育活動にも大きな影響を及ぼしています。昨年度は四月当初から二ヶ月間、県内高校は一斉休校となり、その期間中は県で整備いただいたウェブ会議システムを活用して自宅の生徒へオンライン授業を配信しました。また、文化祭、体育大会、林間学舎、修学旅行といった学校行事も中止や延期をせざるを得ず、部活動でもインターハイなどの公式大会やコンクール、発表会などの中止が相次ぎ、生徒たちの活躍や発表の場がなくなりました。

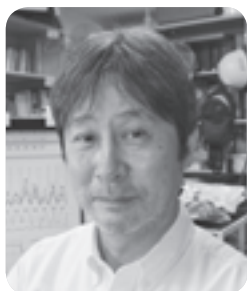
今年度は、感染症対策に十分に配慮した上で、学習や学校行事、部活動については、通常の実施が困難な場合であっても、ICT機器を活用したオンライン開催など、形態を工夫しながら実施し、生徒たちの学習保障や高校生活の充実につなげていきたいと考えております。

また本校では、グローバルリーダーの養成を目指して探究的な学びに力を入れており、国際交流や最先端科学の分野での体験プログラムを実施し、「科学の甲子園」「模擬国連」「即興型英語ディベート」等の全国的・国際的な大会において優秀な成果を上げています。

これらの取組では、同窓会の皆様から多くのご支援をいただいております。創立一五〇周年を二年後に控えまして、今後も引き続き、本校の教育活動に絶大なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年度の総会のお世話をいただきます篠田成郎運営委員長をはじめ、当番幹事の昭和五三年、昭和六三年、平成十年卒業の皆様のご尽力に感謝申し上げますとともに、会員の皆様方のご健康とご多幸、そして同窓会の益々のご発展を心から祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。





## 変わり者?諦めない気持ち? 新たな歩みへ~我々の叡智で未来図を描こう~

令和3年度岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会運営委員会 委員長 篠田 成郎

「こんな時代だからこそ人と人の絆を大切にしたい。でも無理するなよ……」——開催中止を余儀なくされた令和二年度同窓会総会運営委員会から託されたメッセージです。令和三年度同窓会総会運営委員会は立ち上げすら難航しました。このような社会情勢の中で同窓会開催は必要か?同窓会開催によって岐阜高校やその在校生・同窓生に迷惑がかかるのでは?誰もが不安に感じていました。

しかし、そこは百折不撓の岐阜卒業生。一縷の望みがあるなら諦めない!こんな世の中だからこそみんな笑顔で集まろう!というメンバーが集まりました。世間一般から見れば、かなりの「変わり者」です。中には、中止となったら岐阜高校の校門前で切腹する!と言い出す者まで現れる始末。それでも、岐阜高校を思い、仲間を思い、全員が熱い気持ちを持って集まった「ある意味」での精鋭です。気持ちは熱く、頭は冷静に、時間軸上であらゆる事態を想定しつつ、

様々な状況・時間ごとの戦略を練り上げました。令和二年度運営委員会の先輩方が会報という形でその足跡を立派に残されたことはとても大きな励みになりました。

それでも、同窓会開催準備を始めた当初は不安だらけでした。広告協賛が集まらなかつたら…、会場参加者がいなくなつたら…、などと柄にもなく怯えるメンバーが続出しました。しかし、これは杞憂でした。例年とほぼ同数の皆さまに広告協賛いただくとともに、「こんな状況だけど頑張つて!」、「皆さんで集まるとイイネ!」など、多くの温かい励ましをいただきました。これでメンバーが俄然元気を取り戻しました。ご協力下さった皆さま、本当にありがとうございます。また、運営委員会では会場参加者は百名に遠く及ばないと予想していましたが、卒業生を限定した同窓生にしか開催案内をお届けしなかつたにもかかわらず、百二十名ほどの同窓生から参加申込をいただきました。例年の

五分の一ですが、これほどまでに多くのコアな岐阜高校ファンが求められることに、さらに勇気づけられました。

令和三年度同窓会の目玉は次の三つです。①イベントの充実とそのオンライン配信、②コロナ禍における同窓生の闘い・思いの紹介、③ホームページやオンライン会議などのICTを活用した同窓生の繋がりの確保。人と人との結びつきが困難な状況だからこそ、同窓生が互いに繋がり、励まし合い、刺激を与え合うことにより、それぞれの立場で次のステージに向かっていただきたいとの思いから考えた企画です。

今年度はやむを得ずオンラインのみの開催となりましたが、次年度は皆さんでご参集いただけることを願ってやみません。また、当日の会場で配布する予定としていた会報は、次年度同窓会にてお配りします。来年こそは皆さんと直にお会いできることを楽しみにしております。



令和3年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会  
総会・懇親会 式次第

令和3年6月6日(日)  
オンライン配信

1. 総会(11:00～11:45)

開会の辞

黙祷

同窓会長挨拶 同窓会 会長 木方 伸一郎

学校長挨拶 岐阜高等学校長 石田 達也

議案審議

第1号議案 令和2年度事業報告

第2号議案 令和2年度決算報告ならびに監査報告

第3号議案 令和3年度事業計画(案)

第4号議案 令和3年度予算(案)

祝辞 同窓会 名誉顧問 古田 肇

閉会の辞

2. 懇親会(12:00～14:00)

開会の言葉 令和3年度同窓会総会運営委員会 委員長 篠田 成郎

恩師紹介・祝電披露

イベント「新たな歩みへ～我々の叡智で未来図を描こう～」

第1部「伝統芸能が描く未来図」

幸清流能楽師

後藤 嘉津幸 はじめ5名

第2部「ウィズコロナ、アフターコロナの未来図」

ぎふ総合検診センター所長・理事

村上 啓雄

第3部「活躍する同窓生たちが描く未来図」

脚本家

林 誠人

アトランタ五輪女子サッカー日本代表

東明 有美

岡崎ビジネスサポートセンター長

秋元 祥治

令和4年度運営委員会 委員長紹介

閉会の言葉

懇談会(ブレイクアウトルーム)

以上



# 議 事

## <第1号議案>

### 令和2年度事業報告

第1回役員会	4月23日	書面会議（コロナ感染予防のため会議自粛）
同窓会総会	6月2日	コロナ感染予防のため中止（緊急事態宣言下）
第2回役員会	9月15日	岐阜高校
基調講演会(同窓会主催)	10月6日	岐阜高校
		講師：林 信秀氏（昭和50年卒）
		みずほ銀行 常任顧問
第3回役員会	2月4日	書面会議（コロナ感染予防のため会議自粛）

### << 参考 >>

令和2年度 在京(首都圏)同窓会総会  
 令和2年7月7日 コロナ感染予防のため中止（緊急事態宣言下）

## <第3号議案>

### 令和3年度事業計画(案)

第1回役員会	4月22日	岐阜高校
同窓会総会	6月6日	岐阜グランドホテル
第2回役員会	9月14日	岐阜高校
基調講演会(同窓会主催)	11月9日	岐阜高校
		講師：杉山 武史氏（昭和50年卒）
		三菱電機株式会社
		取締役 代表執行役 執行役社長，CEO
第3回役員会	2月1日	岐阜高校

### << 参考 >>

令和3年度 在京(首都圏)同窓会総会  
 令和3年7月11日 東京ドームホテル（コロナ感染予防のため中止）



第2号議案  
令和2年度岐阜高等学校同窓会 決算報告

自 令和2年 4月 1日  
至 令和3年 3月31日

【一般会計】

収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	4,163,941	4,163,941	
同窓会入会費	1,074,000	1,068,000	@ 3,000 × 356名
受取利息	24	34	普通預金利息
雑収入	0	0	
計	5,237,965	5,231,975	

支出の部

役員会費	50,000	16,524	1回
慶弔費	50,000	0	
祝儀、餞別	200,000	0	(在京同窓会が今年度中止となったため)
總會運営費	300,000	300,000	令和3年度總會運営委員会補助金
旅費	100,000	0	(在京同窓会が今年度中止となったため)
通信費	10,000	2,420	切手、ハガキ、送料等
ホームページ関連経費	300,000	220,770	管理料、ドメイン利用料、メンテナンス料等
同窓会名簿関連諸費	-	575,520	管理料、登録・修正更新作業費
手数料	10,000	4,510	振込手数料
校史資料室整備費	100,000	27,420	資料整理用品等
母校支援活動費	300,000	16,618	講演会費、ICレコーダー
雑費	10,000	0	
次年度繰越金	3,807,965	4,068,193	
計	5,237,965	5,231,975	

【特別会計】

収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	5,341,950	5,341,950	
十六銀行株式配当金	482,654	551,605	株式保有数8,142株
受取利息	38	48	普通預金利息
計	5,824,642	5,893,603	

支出の部

次年度繰越金	5,824,642	5,893,603	
計	5,824,642	5,893,603	

【總會特別会計】

収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	20,448,681	20,448,681	
令和2年度總會運営費繰入金	1,200,000	1,200,000	運営費貸出金の返済金
令和2年度同窓会總會余剰金	-	2,164,161	令和2年8月受け入れ
受取利息	130	186	
計	21,648,811	23,813,028	

支出の部

令和3年度總會運営費繰出金	1,200,000	1,200,000	運営費一時貸出金
振込手数料	550	550	
次年度繰越金	20,448,261	22,612,478	
計	21,648,811	23,813,028	

上記の通りご報告申し上げます。  
令和3年3月31日

令和2年度岐阜高等学校同窓会  
会 計 杉山 文康  
会 計 早川 徹

上記について関係書類を監査の結果、適正に処理されていたことを報告いたします。  
令和3年3月31日

令和2年度岐阜高等学校同窓会  
監 査 伊在井みどり  
監 査 佐伯 淑子



第4号議案  
令和3年度岐阜高等学校同窓会 予算(案)

自 令和3年4月1日  
至 令和4年3月31日

【一般会計】  
収入の部

科目	予算	備考
前年度繰越金	4,068,193	
同窓会入会費	1,080,000	@ 3,000 × 360名
受取利息	30	普通預金利息
雑収入	0	
計	5,148,223	

支出の部

役員会費	50,000	3回
慶弔費	50,000	
祝儀、餞別	0	在京同窓会等
總會運営費	300,000	令和4年度總會運営委員会補助金
旅費	0	在京同窓会出席者旅費等
通信費	10,000	切手、ハガキ、送料等
ホームページ関連経費	300,000	管理料、ドメイン利用料、メンテナンス料等
同窓会名簿関連諸費	450,000	管理料、登録・修正更新作業費
手数料	10,000	振込手数料
校史資料室整備費	100,000	資料整理用品等
母校支援活動費	300,000	講演会費、学校案内
雑費	10,000	
次年度繰越金	3,568,223	
計	5,148,223	

※ 一般会計での科目間流用を認める

【特別会計】  
収入の部

科目	予算	備考
前年度繰越金	5,893,603	
十六銀行株式配当金	482,654	株式保有数8,142株
受取利息	40	普通預金利息
計	6,376,297	

支出の部

次年度繰越金	6,376,297	
計	6,376,297	

【總會特別会計】  
収入の部

科目	予算	備考
前年度繰越金	22,612,478	
令和3年度總會運営費繰入金	1,200,000	運営費貸出金の返済金
受取利息	160	普通預金利息
計	23,812,638	

支出の部

令和4年度總會運営費繰出金	1,200,000	運営費一時貸出金
振込手数料	550	
次年度繰越金	22,612,088	
計	23,812,638	



令和2年度岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会決算書

自 令和1年9月1日 至 令和2年8月31日

1. 収入の部

(単位:円)

科目名	令和2年度		備 考
	予算	決算	
本会預り金	1,200,000	1,200,000	総会特別会計より総会運営費
本会受入金収入	300,000	300,000	一般会計より総会運営費
会費収入	5,600,000	0	コロナ禍の影響により、総会中止
広告料・協賛金収入	6,300,000	6,460,000	会報広告掲載者 217名 協賛金協力者 12名
祝儀収入	0	0	コロナ禍の影響により、総会中止
受取利息	0	45	財務部会口座利息 18円 職員部会口座過年度利息 4円 広告部会口座3行過年度分12円 3行当年分11円
雑収入	0	0	
合 計	13,400,000	7,960,045	

2. 支出の部

(単位:円)

科目名	令和2年度		備 考
	予算	決算	
総 会 費 ( 総 会 費 )	6,150,000	0	コロナ禍の影響により、総会中止
総会費(イベント経費)	250,000	0	コロナ禍の影響により、総会中止
印 刷 費	2,900,000	4,417,776	広告依頼状、開催中止案内状、会報等
通 信 費	200,000	38,303	銀行FAX手数料 広告協賛請求書領収証発送 会報送付等
会 議 費	50,000	45,223	会報部会場代 飲料水代 表紙御礼・幹事依頼
事 務 費	100,000	14,322	領収証発送封筒 DVD代金
振 込 手 数 料	150,000	5,720	銀行振込手数料
雑 費	100,000	74,540	在京役員会出席宿泊費 サンメッセHP更新料 サンメッセ会員情報抽出作業 岐阜広告開催告知広告
反 省 会 費	300,000	0	コロナ禍の影響により、反省会中止
本 会 預 り 金 返 金	1,200,000	1,200,000	総会特別会計へ返金
予 備 費	2,000,000	0	
余 剰 金		2,164,161	総会特別会計へ送金
合 計	13,400,000	7,960,045	

上記の通りご報告申し上げます。

令和2年9月2日

運営委員長 松波 和寿

会 計 宇佐見 了

上記について監査をした結果、適正に処理されていることをご報告致します。

令和2年9月2日

監 査 鈴木 智子

## 令和3年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会 予算書

### 1. 収入の部

(単位：円)

科目名	令和2年度		令和3年度	備考
	予算	決算	予算	
本会預り金	1,200,000	1,200,000	1,200,000	総会特別会計より総会運営費
本会受入金収入	300,000	300,000	300,000	一般会計より総会運営費
会費収入	5,600,000	0	945,000	会費9,000円×100名、教員4,500円×10名
広告料・協賛金収入	6,300,000	6,460,000	5,565,000	会報広告掲載者184名、協賛金協力者11名
受取利息	0	45	30	普通預金利息
祝儀収入	0	0	0	
合計	13,400,000	7,960,045	8,010,030	

### 2. 支出の部

(単位：円)

科目名		令和2年度		令和3年度	備考
		予算	決算	予算	
総会費	総会費	6,150,000	0	1,673,000	(株)岐阜グランドホテル支払他
	イベント経費	250,000	0	270,000	イベント出演料
印刷費		2,900,000	4,417,776	2,620,000	払込票、広告依頼状、案内状、会報等
通信費		200,000	38,303	150,000	はがき、切手、郵送料等
会議費		50,000	45,223	260,000	運営委員会会議費等
事務費		100,000	14,322	20,000	文具・コピー代等
振込手数料		150,000	5,720	26,000	コンビニ収納代行手数料、銀行振込手数料
雑費		100,000	74,540	1,028,000	ホームページ更新料、ホームページ新設・維持料、出演者旅費等
反省会費		300,000	0	300,000	反省会
本会預り金返金		1,200,000	1,200,000	1,200,000	総会特別会計へ返金
予備費		2,000,000	0	463,030	
余剰金		0	2,164,161		総会特別会計へ送金
合計		13,400,000	7,960,045	8,010,030	



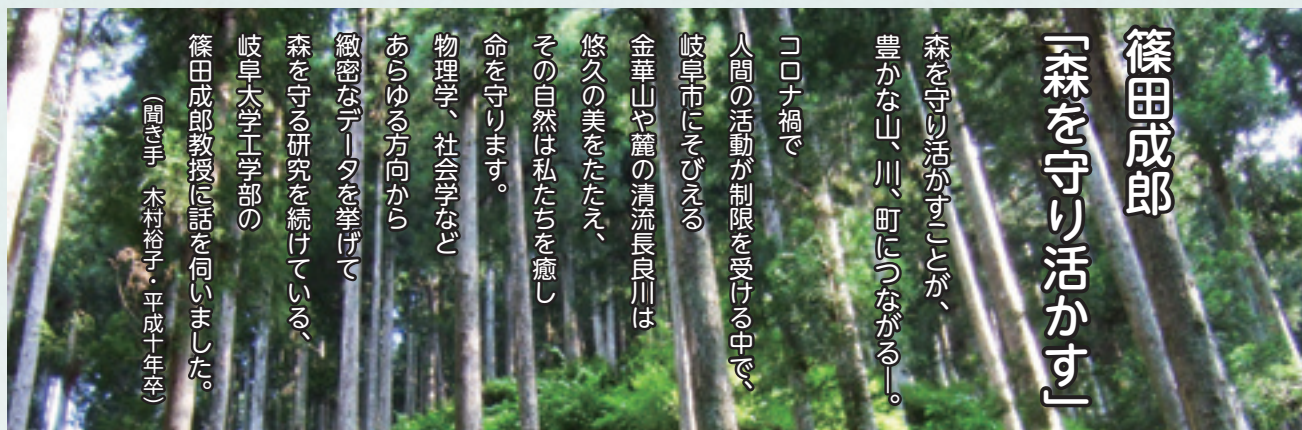
## 岐阜県立岐阜高等学校同窓会規約

- 第 1 条 (名称) 本会は岐阜県立岐阜高等学校同窓会と称する。
- 第 2 条 (目的) 本会は会員相互の親睦を図り併せて母校の発展に寄与することを以て目的とする。
- 第 3 条 (組織) 本会は次の会員を以て組織とする。
- 正会員
- 岐阜県岐阜中学校卒業生
  - 岐阜県岐阜高等女学校卒業生
  - 岐阜県岐阜第一中学校卒業生
  - 岐阜県岐阜第一高等学校卒業生
  - 岐阜県岐阜女子高等学校卒業生
  - 岐阜県立岐阜高等学校併設中学校卒業生
  - 岐阜県立岐阜高等学校卒業生
  - その他理事会の議を経て、会長の承認した者
- 特別会員 現職員・旧職員
- 第 4 条 (役員) 本会は次の役員をおく。
- |         |     |              |
|---------|-----|--------------|
| 名誉顧問・顧問 | 若干名 | 理事会に於いて推挙する。 |
| 名誉会長    | 1名  | 母校校長         |
| 会長      | 1名  | 総会に於いて選出する。  |
| 副会長     | 若干名 | 総会に於いて選出する。  |
| 監査      | 若干名 | 総会に於いて選出する。  |
- 第 5 条 (役員の仕事) 役員の仕事は次の通りとする。
- 会長は会務を総括し、総会・理事会・幹事会を召集し、その議長となる。
  - 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは代行する。
  - 会長・副会長は、会務の企画並びに会計に関することを行う。
  - 監査は会計を監査する。
  - 顧問は会長の諮問にこたえる。
- 第 6 条 (役員の仕事) 役員の仕事は2年とする。但し再選を妨げない。
- 第 7 条 (総会) 本会の目的を達成するため、毎年1回総会を開く。但し必要のある場合は臨時総会を開く。
- 第 8 条 (入会金) 正会員は入会金を納入する。
- 第 9 条 (経費) 本会の経費は入会金、寄付金等を以て充てる。
- 第 10 条 (会計) 会計年度は毎年4月1日より始まり翌年3月31日で終わる。
- 第 11 条 (支部) 本会には支部を設けることができる。
- 第 12 条 (同窓会事務局所在場所) 岐阜市大縄場3の1、岐阜県立岐阜高等学校内に置く。

## 岐阜県立岐阜高等学校同窓会役員

名誉顧問	古田 肇 (昭和41年卒)	
顧 問	杉山 幹夫 (昭和20年卒)	野々垣 孝 (昭和31年卒)
	森川 幸江 (昭和40年卒)	水谷 邦照 (昭和41年卒)
名誉会長	石田 達也 (昭和57年卒)	
会 長	木方伸一郎 (昭和46年卒)	
副 会 長	木村 容子 (昭和46年卒)	後藤 寿彦 (昭和47年卒)
	杉山 正裕 (昭和49年卒)	遠藤 宏治 (昭和49年卒)
	村瀬 幸雄 (昭和50年卒)	松波 英寿 (昭和50年卒)
	神谷眞弓子 (昭和51年卒)	杉山 文康 (昭和54年卒)
	早川 徹 (昭和61年卒)	國井 重宏 (昭和61年卒)
会 計	杉山 文康 (昭和54年卒)	早川 徹 (昭和61年卒)
監 査	伊在井みどり (昭和54年卒)	佐伯 淑子 (昭和55年卒)





## 篠田成郎

### 「森を守り活かす」

森を守り活かすことが、豊かな山、川、町につながる。

コロナ禍で

人間の活動が制限を受ける中で、

岐阜市にそびえる

金華山や麓の清流長良川は

悠久の美をたたえ、

その自然は私たちを癒し

命を守ります。

物理学、社会学など

あらゆる方向から

緻密なデータを挙げて

森を守る研究を続けている、

岐阜大学工学部の

篠田成郎教授に話を伺いました。

(聞き手 木村裕子・平成十年卒)

篠田 私は

元々、海岸

工学を専攻

し、海や波

について、

物理学や力

学の方程式

を用いて数

値解析をし

る研究をし

てきました。

しかし、海

なし県でこのまま研究を続けるの

も、と、岐阜大の助教になったた

イミングで、これまでの物理学の方

程式などを使って海から山まで全部

を相手にして、故郷の自然を護る研

究者になりたいと考え、研究分野を

変更しました。それには現象を知ら

なければ始まらないと、岐阜の山中、

乗鞍山嶺などで一年間の三分の一を

過ごすこと五、六年を経て、山から下

流、長良川や木曾川、伊勢湾まで、

問題になっている現象がたくさん見

えてきました。当時浮上していた地

球温暖化、人間の排出するさまざま

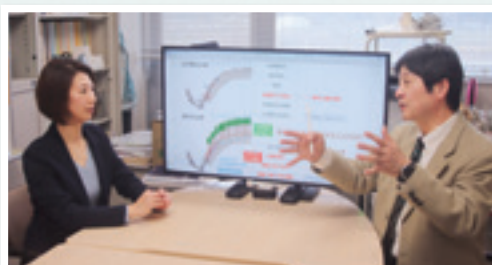
な物質の影響に関わる課題が顕在化

しました。

そのうち、岐阜県環境部局から、

吉田川のアユが急減している、と相

談がありました。一九九五年の、長



良川上流域の漁獲高急減の原因を知りたいと。河口堰やスキー場建設の影響を指摘されていたのですが、実際にはアユの遡上量は戻っていて、水質も向上していると分かりました。漁獲高というのは実はアユだけではなく、海から遡上しないアマゴも含まれます。アユよりアマゴが影響を受けていると分かった上に、河口堰が主原因なら遡上しないアマゴは減らないはずなので、河口堰だけが原因ではないと分かった。主な原因は山や森だったのです。

森は間伐

などの管理

がされてい

ないと、木々

が密集して

隙間がなく

なり、雪が

地面に落ち

ずに木の上

にたまりま

す。すると、雪の重みで

木が折れてしま

います。

郡上市大和の、ある杉の市有林を、

間伐・非間伐・途中から間伐、の三

通りに分け比較調査を五年間したと

ころ、土に違いが生じることが分か

りました。樹木というのは地中から

水を吸い上げます。木がたくさんあ

ると水がたくさん吸い上げられ、土



放置された森林

の中の水分が減ってしまいます。さらに樹冠遮断といって、非間伐部分では、先述のように雪や雨水が地面に届かず、土がパサパサに乾燥してしまいます。すると元々土の中に棲むたくさんの虫や微生物がいなくなってしまうのです。水を貯める立役者としての生き物がいなくなってしまう、土がパサパサに乾燥して、細かい土が流出してしまいます。

雨が降っ

た時、昔よ

り川の濁っ

ている時間

が長いと思

いませんか。

濁りは、山

から細かい

土がたくさん

ん流れてきて

いることを意味しま

す。長良川でも、鵜匠さんに聞くと、

昔は河原に真っ白な玉石がたくさん

あったのに、今は草で覆われている

と。川原に土が滞積しているのです。

山から流出する土は腐植土、肥沃な

土で、川の植物は繁茂しますが、逆

に山の方は土がなくなってしまうて

いるのです。あるヒノキ林では、

四五年で六〇センチ、地面が下がり

ました。

アユが食料とする藻類に土がか





かつてしまつてアユが育たなくなると、あるいは藻類が育たなくなる。川が濁っていると日光が届かないので、光合成ができません。仮に光合成できたとしても、土をかぶった藻類なので、魚は好んで食べません。アユは新鮮な藻類しか食べないのです。



鮎 ハコネサンショウウオ  
ナガレヒキガエル

人工林が悪いのではなく、人工林の放置が問題なので、管理する仕組みが必要になってきました。管理されない要因としては、木の材価が安く、商売になりません。県は間伐や管理をしようと補助金を出していますが、状況改善に至らないのが現状です。ほとんどの木は木材になることなく放置されています。需要を喚起し、それをお金にしようという動きが必要です。森林は地域の貴重な財産です。木は水を生み出し、木材となり、加工技術の定着と発展をもたらすし、職人の腕を上げ、文化を創り継承され、歴史や風土をつくります。そこで、森林を起点にした地域社会を創り出す動きが起きています。

郡上市の明宝温泉の例です。この温泉施設では湯を灯油で温めていましたが、売り上げのほとんどが灯油代で消え、県外へ流出していました。そこで、木質チップや薪をボイラーで燃やし、湯を温めることを始めました。地元でチップ工場を作ったり、薪を地元のお年寄りに切ってもらうことによって、お金が地元へ落ちる仕組みです。灯油を用いていた頃は地域外に流出していた支出が、チップと薪にすることでトータルの支出が減ってお金が地元へ落ち、地元の雇用も生み出します。木材を地産地消することで社会全体のコストを下げる仕組みとなりました。



移動式チップパー→木質チップ→チップボイラー

このように森林を、いろいろな視点でみんなで考え、活用することによって、みんなが一つの目標に向かい集まれるようになってきた、ということが最も重要なことでした。若者を中心に地域外に人が流出していたのを食い止め、エネルギーの自給自足、森林が良くなり、川の下流域にも恩恵が行き渡ります。

**木村** 高齢化で山の管理ができなくなる事例がありますよね。  
**篠田** 若者の流出を防ぐには、山に目を向けることが大切です。山は荷物ではなく、資源の宝庫、財産です。そう思える仕組みが必要なのです。  
**木村** そもそも、山に関心を持ったきっかけは何でしたか。

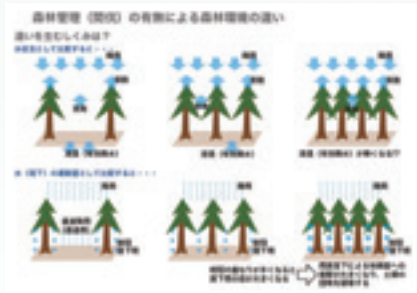
**篠田** 元々土木工学を目指したのには、見えないところで多くの人に貢献できるからです。現象を力学や微分方程式で華麗に説明できるということもあります。岐阜市内に住んでいると気付かないことですが、実際山に入ると、良い森悪い森、というのがはっきり分かります。悪い森というのはクモの巣がない、虫や鳥がない、といった特徴があります。原因が何なのか、データを調べると、みんなが知らないことがたくさんある。それにのめり込みました。研究とは、みんなが

気付いていないこととに自分一人が気付いて深めていく楽しさ、さらに、それが世



の中のためになる楽しさを味わえると考えます。  
例えば一九九四年の米不足につながった濁水について、一体何が起こっていたのか。実は過去三カ月や一年間に前兆がありました。こういったことも研究の成果や楽しさといえます。

**樹木の過密** によって洪水や濁水のリンスフは高まります。葉が地面にたくさん落ちるとよい、と思われがちですが、実際は山が葉で覆われると、葉が雨をはじいて川に流れてしまい、地面に水が行き渡りません。理想は、葉が腐って土になると同時に、下層植生とって低木の広葉樹が生えることで、まず大きな木があり、中くらいの木、低木、最後に落ち葉がある、複層構造があるとよいのです。木々に、地面に日が当たるくらいの隙間があり、光合成がなされることが理想です。



**木村** そもそも、たくさん木が欲しい



いから間を詰めて植林されたのでしょうか。

**篠田** 昔は燃料や建材の需要があったためにハゲ山だらけで、たくさん植林すればよい、という考え方でした。そして杉とヒノキを次々植えたのですが、木が育った今から一〇年二〇年前には材価が外材の方が安いからと、需要がなくなってしまうたのです。



伐採されたハゲ山 (部分皆伐)

杉やヒノキの構造体としての長所は、加工しやすいこと。曲がったりして扱いにくい広葉樹と違い、製品化するに均質化しやすいです。ただ、外材は大量に出回り、安い。外材の需要増は諸外国の環境問題に影響を与えています。日本も加担しています。それでも、日本は一本の木を切り出すのにコストがかかる。人件費が高いため、外材を使った方が安い、というジレンマがあるのが現状で、人件費を削るのではなく輸送コストなどを下げる努力をしようと模索しています。林業は高度な技術力を要します。ヨーロッパでは高学歴の人が林業に携わり、憧れの職業となっています。日本でもそうなるには、材価を安定

化しつつコストを下げる方策が必要となります。

**木村** 最後に、将来のためわれわれができることは。

**篠田** まずは木を使うことのメリットを知り、肌で感じてもらうこと。例えば木造の家は、夏は涼しく冬は暖かい。湿度のコントロールもでき、技術が進んで断熱もできるようになっていきます。地元の木は、風土に合っているものです。家は木造がいいね、ということに気付いてほしいのです。安ければよい、というのではなく、地元の木を多少高くても使うことが当たり前になるといいと思います。それが結局は、トータル的に安上がりになると思うのです。

次に、私は現地観察が楽しみです。山の中では気持ちがいいです。山の中に入って気持ちを知ってほしい。ことで、コ罗纳禍だと余計に感じられるようになったストレスを軽減することができそうです。森の中に入る心地よさを知ってほしいと思



います。それによって、生活の中に森、木を意識するようになれます。

最後に、水や生き物に目を配らせること。水、生き物はほとんどが山由来です。水は山が蓄えたもの、山を管理しているからこそ享受できるものです。生き物は何らかの形で人間に影響を与えています。そして人間は最後に影響を受けます。生き物に目を配らせることが、数十年後に人間の身に降りかかることを予見することにつながるのです。



#### ◀ 略歴

● **篠田成郎** (しのだ・せいろう)

一九五九年生まれ。岐阜大学、京都大学を経て、二〇〇三年より岐阜大学教授。専門分野：水文学・水環境

工学。現地観測と数理モデル解析による、流域内での水・物質動態に及ぼす人間活動の影響評価を主な研究対象としている。産官学民が連携したぎふ・森林起点地域社会システム研究会を主宰し、気候変動・温暖化影響下における森林環境保全と地域活性化に資する流域環境施策の提案と実施にも携わる。

● **木村裕子** (きむら・ゆうこ)  
一九七九年岐阜市生まれ。岐阜大学教育学部(理科教育・生物学)卒、岐阜大学大学院教育学研究科修了、平成一六年岐阜県庁入庁(農学)。現在 岐阜農林事務所(農業普及課)





# 『その先へ』



「今在るところからの挑戦」  
彫刻家・小野田志津代(旧姓安藤)

「空」 鶴川にて

## 創造は挑戦の連続

一八才で武蔵美の彫刻科に入ってから今まで四三年、目の前にあるのはいつも創造しかなかった。

大学院・研究室まで七年間人体塑像に打ち込んだ基礎が今に生きている。人体には宇宙の原理全てがあり、彫刻作品にするには厳しい目と、デッサンと、構築の研究が必要不可欠であった。彫刻の基本は全て人体塑像から学んだ。

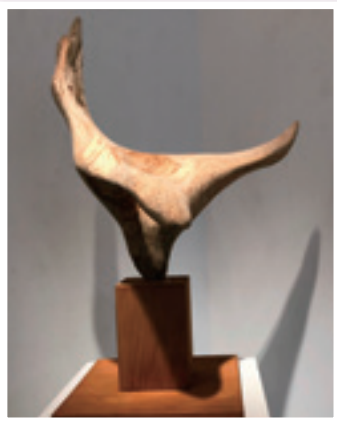
大学を去り、結婚と共に一年間だけ日本生産性本部で講演内容を冊子にまとめる仕事だったが、その後子育てを経てまた彫刻制作へ。彫刻家としては遅い出足ではあったが、

多くの尊敬する先輩方のいる自由美術協会に出品を始めた。数ある日本の公募展団体の中でも、自由美術は柵もなく上下関係もない。毎年大作を六本木の国立新美術館等、広い美術館で展示できる魅力があり今に至っている。他の素材も試してきたが、現在では木彫が中心である。今まで安泰な制作などは無かった



「潮音」 岐阜極小美術館

し、もちろん創作そのものに男女の差もない。しかしどんな状況で生きてきたにせよ、感性と経験は誰もが唯一無二のものを持っている。今まさに、生まれてから今までに至る環境に深く恩恵を感じながら制作を続けている。



「風が吹く」京橋ギャラリーアートポイント

私は特定の宗教は持たないが、木に對峙して制作する事は靈的な体験であり、生まれる以前の体現をしている作業にも思える時がある。単なる思いつきではない、永遠にも繋がる形を生み出すことが私の制作である。木彫制作は木の性質に引く張られるが、自分の意思がその方向を決定する。究極の遊びは真剣そのものである。

今在るところからのその先。毎瞬がその追求だから終わりは無い。  
コロナ禍のこの一年余りは大きな展覧会も無く、海外での展示にも参加できない状況が続いているが、創

る手は止まらない。創り続けることで新たに繋がるものがあると感じている。

六一歳。

彫刻について、やっと少し何がみえてきた。

ここから私の挑戦。ここから新しく何が出来るのか、わくわくしている。

Shizuyo Onoda

自由美術協会会員・立体部事務局



「縄文の風」北青山ギャラリーコンセプト



「風の記憶」東京・国立新美術館



特集5

恩師からの便り

林間学舎―西穂高岳をめざして 杉山 仁

日本アルプスに囲まれ、白樺林の台地に立つ岐阜高校の「林間学舎」は、県内の高校のどこにもないすばらしい建物である。ここで岐高生が行う二泊三日(一年生)の活動は、思い出深いものであろうと思う。

広大な自然の中で、起居を共にし健全な心身を養い、円満な人間関係を形成するという目的を達成するための最高の場所と言えよう。

豊富な研修内容は、「林間学舎の栞」の中に明確に記され、それに従って活動する。私が引率、付添いした生徒諸君は、全てきちんと計画を守り行動し、さすがだなと感心し嬉しく思ったものである。

活動の中で最大の目的は、「西穂高岳」への登山である。新穂高ロープウェイの終点から、一步一步登り始める。しばらく森林の間を歩くと西穂高荘に着く。ここで一休みするも、ここからが高山特有の岩石のガラ場を登ることになる。目標は「西穂高岳・独標下のお花畑」を目指す。一步一步が苦しくなる。これを耐え

ねば目的地に到達できない。皆体力をふりしぼり、ガラ場を登る。

息をととのえた所で、前方や左方向を望むと、穂高岳・槍ヶ岳などの三千メートル級の山々や、特色ある笠ヶ岳・槍ヶ岳などが眼前にせまりその絶景に息をのむ。苦勞して登ってきた苦しさも、吹っ飛んでしまう。右目下には、上高地や大正池の美しい風景が広がっている。

生徒諸君は、落伍する者もなく、元氣一杯であることに、よろこびを感じたものである。

「栞」(昭和五六年版)の折込頁に、『学舎周辺の鳥瞰図』を描かせてもらった。日本アルプスの全貌を把握していただけだと思う。キャンプファイヤーも楽しかった。



杉山 仁先生

二つの出会い

七〇歳を超えてから異国を巡り歩いた日数は計五〇九日、その中に特別大切な記憶が二つあります。

二〇一五年九月二日、フェルメールの故郷デルフトでの夕刻を散策中、市庁舎裏の運河のほとりに三人組の撮影隊を発見。市庁舎で結婚手続きを済ませた花嫁・花婿と二人にポーズをつける女性カメラマン一人通りが少なくなる時刻を待って記念撮影を始めたようです。アーチ橋の上を二人を立たせて向こう岸へ降りた女性は、右手で三脚上のカメラを操作しています。私は『Congratulations!』と二人に声をかけて橋を渡り『お手を伝いをさせてください』と言いなから反射板の方へ手を伸ばしました。臨時助手が掲げる反射板の角度を時折調整しつつ女性は撮影を終えました。そして私は『Thank you so much!』と言って駆け寄って来た花嫁、花婿の輝く笑顔に挟まれて、幸せのお裾分けに与ったのです。

二〇一八年四月五日、ブーツのつま先にあるクラブリア半島の漁村

シツラを訪れた時のこと。イタリアの春の旅では至る所で修学旅行生や社会見学の子供たちと一緒にになります。この日もシツラから駐車場まで戻る夕暮れの道は混雑していました。私が杖をついて歩いていると、数歩ほど前の位置にすーっと現れた若者が腕を組もうと誘うようなポーズでこちらを振り返りました。私も迷わず歩み寄って片腕を預け、エスコートされる晴れやかな気分に戻って一日の疲れを忘れていました。グラフィックの勉強をしているという一八歳の専門学校生は少しも照れたりせず、また友人たちも彼を冷やかしたりせず、ごく自然な優しさで高齢女性を包み込んでくれました。彼らの未来への挑戦に対して遠く

エールを送っています。



高田 睦先生

高田 睦

## 久しぶりのアルバム

土川 裕

岐阜高校を去って四二年、何を書いているのか分からず、取り敢えず卒業アルバムを出してきた。アルバムを開くのは何年ぶりか。

まず目に入ったのが懐しい校舎の写真と校歌です。「千仞の嶽 金華山 百里の水 長良川…」歌ってみると今でも歌うことが出来た。全校集会時、生徒と共に歌った記憶があり、伝統を感じるすごい校歌だと思った。

クラス写真のページでは忘れかけていた顔と名前を確認しながら、それぞれが授業、部活動、学校行事等、何事にも真剣に取り組む姿を思い浮かべた。

部活動はどの部も短時間に集中して活動していた。その中でいつの年度か定かでないが、軟式テニス部はインターハイに、硬式野球部は甲子園に出場した記憶が残っている。私も甲子園球場で応援するという貴重な体験をした。私はバドミントン部顧問の山田（喜）先生に教えて頂いたことが切掛でバドミントンを始めた。その後、趣味として長いこと楽しんだ。私が五〇年以上続けた肝心

のバレーボールは残念なことに良い成績は残せなかった。

さらにアルバムをめくると多くのことが…。最近、過去のことを思い出すことなく生活していた。今回、久しぶりにアルバムを開いたことで多くのことが蘇った。その多くは生徒や先生方が私に下さったものと改めて思った。みなさんありがとう。最後に近況報告を少しだけします。

毎日、自宅周辺を散歩することと花などを育てて観察本当はぼーと見ているだけ（）することを楽しみ、のんびりと過している。（以前は体力に自信があったのに、今は散歩しか出来ないというのが実情です。）



土川 裕 先生

## 「明け暮れ学ぶ」は何の為

安江 雅和

同窓会総会の開催、心より慶賀申し上げます。コロナ禍で催事自体が控えられる中、多くの有志が開催に漕ぎ着けようと腐心されています。折節、SNSを通して垣間見聞きしてきました。膨大な時間を費やして学友や恩師の消息を追うなど、その無償で惜しみない尽力に驚異と敬意を禁じ得ませんでした。「この卒業生は素晴らしいな」と心底思いました。

私は昭和五十一年から二年間勤務。忘れもしません、初任校でしたので。あの日々は印象深く刻印され今も鮮明に蘇ります。そこから既に四〇年有余の星霜が経過しています。その後の勤務校と比較すると短時間ですが、実に豊かな時間でした。さまざまな分野で活躍する方々と偶々か今も交流があることに有り難さを感じます。今から思えば不遜、赤面の至りですが、年齢が近く何だか弟や妹が突如出現したかのごとき感覚で勤めさせていただきました。

私のような人間には「国家の為に明け暮れ学ぶ」という校歌の聊か時代錯誤的な一節は抵抗があり過ぎま

した。但し、今と違って当時の校舎は定時制課程と共用している教室も多く、通信制課程もありました。就学困難な中で学ぶ機会を得た多くの学生が集う「学び舎」でもありました。私の姉も此処で学び、道を拓いた卒業生の一人です。そのことも嬉しく、ここは「学び続けること」を保障する場なのだから「国家の為」ではなく「意味深く生きる為」に明け暮れ学ぶところと読み替えることで違和感を解消していました。

古稀を迎えた今もなお若者に寄り添っています。岐阜高校で皆さんに紛れ込むようにして過ごした二年の歳月は、私にとって紛れもない原点となっております。



安江 雅和 先生





## 皆さんから学んだこと

虫賀 文人

とにかく凄かった平成九年度卒業生の皆さんとの出会いが、私の教育方針を大きく変えました。

それまでは、「俺についてこい」的な熱血先生と呼ばれることに誇りを持っていましたが、皆さんから、生徒の可能性を信じ、レールを敷かないことの大切さを学びました。

そのきっかけとなったのが、生徒会執行部を中心に出場したディベート全国大会での優勝でした。元はと言えば、この大会への出場は、文化祭の全体鑑賞でディベートを行うための視察から始まったものでした。

当時、生徒会の顧問をしていた私は、「ディベートは堅いので文化祭の全体鑑賞にはそぐわないのではないか」と否定的でしたが、生徒会執行部の度重なる訴えに押されて了承しました。文化祭本番では、優勝メンバーは裏方に回り、一般の生徒たちを中心にディベートが展開されましたが、大いに盛り上がり、大成功を収めました。

その時、私は、教師が自分の思いだけで生徒の可能性を決めつけてはいけないことを、生徒には無限の可

能性が広がっていることを学びました。ここから、生徒の自主性を重んじる教育に方向転換していきました。

以降、私がモットーとした言葉が、「発見する喜びは生きる幸せである。どんなものでも自分で見つけたら宝物、どんな場所であつても自分でどり着いたら宝島」です。

こんなお話をさせていただいたのは、皆さんへの感謝の気持ちと日常生活の中で何かの参考になればと思っただけからです。

現在、私は相変わらず教える立場にいて、そのために日々、学び続け、それが生きる力になっています。皆さんもお元気で活躍ください。



虫賀 文人 先生

## 『時は流れども』

林 達郎

平成五年、教員として赴任した時の岐高は、その僅か一〇年前、自分が生徒だった頃に比べて、いくつもの変化が目についた。生徒当時、被っていないと叱られた学生帽や「山貞」が横向きに入る厚みがあるよう指導された皮製の黒い手提げ鞆は姿を消していた。革靴タイプでない白色の靴という規則はなくなり、鞆も靴も自由化されていた。時代とともに社会は変わり、学校も変わったものだと感じた。

林間学舎。生徒当時は、国道四一号线を北上し宮峠を越えていたが、せせらぎ街道を通ることで大幅に時間短縮された。現在は東海北陸自動車道でさらに近くなったことだろう。生徒当時は、飯盒炊さん、西穂高岳登山、オリエンテーリング、キャンプファイヤーを三泊四日で実施していた。登山は、新穂高ロープウェイの終点から西穂山荘、お花畑、独標まで行った。学舎周辺を散策して回るオリエンテーリングでは、坂をずいぶん下ったところにある双子松のポイントがとても遠かったと記憶している。そのオリエンテーリング

はなくなり、キャンプファイヤーも周辺住民の反対からか室内でのキャンプサービスになっていた。さらに数年後には二泊三日となり、乗鞍登山となった。研修内容に変化はあるものの、眼前にそびえる錫杖岳の岩壁と八階建てを思わせる写真に現物を見てびっくりした「伝統ある建物」は、変わることなくその佇まいを留めていることであろう。雄大な自然の中での体験は、いつになっても変わらぬ素晴らしい思い出である。

時代とともに、学校を取巻く環境や活動内容は変わっていく。しかし、時は流れども、「百折不撓・自強不息」の精神と優秀な生徒たちが切磋琢磨する岐高は、いつまでも変わらないでいて欲しいものである。



林 達郎 先生